

教員と学生のコラボレーションによるコンサートシリーズVI

作曲家、矢代秋雄の世界

「究極のエクリチュールを求めて」

〈トーク・セッション〉

素顔の矢代秋雄～その作品と人生を語る

井上二葉

ピアニスト、エリザベト音楽大学名誉教授

青柳いづみこ

ピアニスト、文筆家、大阪音楽大学教授

西岡龍彦

作曲家、東京藝術大学教授

船山信子(司会)

音楽学者、上野学園大学学長

〈曲目〉

矢代秋雄/ピアノのためのソナチネ

オリヴィエ・メシアン/《ハラウイ》より

矢代秋雄/弦楽四重奏曲

クロード・ドビュッシー/ピアノのために

矢代秋雄/ピアノ・ソナタ

〈出演者〉

上野学園大学音楽学部学生

特別出演: 安田正昭(上野学園大学准教授・ピアノ)

* やむを得ない事情により、曲目など講演の内容が変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2016年

10月9日(日)

14:30開演(13:30 開場)

13:50 トーク・セッション

『素顔の矢代秋雄～その作品と人生を語る』

上野学園 石橋メモリアルホール

一般 ¥2,000 学生 ¥1,000 (全席自由・税込み) * 未就学児は、入場不可です。

東京文化会館チケットサービス 03-3685-0650

主催・お問い合わせ: 上野学園 石橋メモリアルホール

03-3843-3043 [平日10:00-17:00] <http://www.ishibashimemorial.com>

企画: 同大学音楽文化研究センター

企画制作: 同音楽学部 文化創造マネジメント専門生有志



ISHIBASHI MEMORIAL HALL

「ピアノには、私自身が幼い頃から親しんでいたもので、 いわば私の分身であり、生活の一部なのです」



矢代秋雄は、生前こんな言葉を残している。

矢代秋雄のピアノ・ソナタ(1961)は、彼の代表作であると同時に、日本人が書いたピアノ・ソナタの中でも屈指の名曲のひとつでもある。しかし、彼の生涯にこのたった1曲しか、ピアノ・ソナタを残さなかった。こんなにもピアノという楽器に寄り添いながら、彼はなぜピアノ・ソナタをたった1曲しか残さなかったのか。

このコンサートでは、このピアノ・ソナタの創作に至るまでの道のりを、矢代が深く影響を受けたふたりの作曲家、ドビュッシーとメシアンを交えながら辿る。

没後40年のこの節目の年に、平成生まれの若き演奏家たちが綴る、矢代秋雄の響きの世界をお楽しみいただきたい。

〈出演者〉



上川佳連

ピアノ

上野学園大学
演奏家コース4年

(ピアノのためのソナチネ)



古賀大路

ピアノ

上野学園大学
音楽専攻科

(ドビュッシー/
ピアノのために)



高橋優介

ピアノ

上野学園大学
音楽専攻科

(ピアノ・ソナタ)



佐々木暁美

メゾ・ソプラノ

上野学園大学
演奏家コース卒業生

(メシアン/《ハラウィ》)



堀越瑞生

ヴァイオリン

上野学園大学
演奏家コース4年

(弦楽四重奏曲)



高橋英梨子

ヴァイオリン

上野学園大学
演奏家コース4年

(弦楽四重奏曲)



後藤俊太郎

ヴィオラ

上野学園大学
演奏家コース4年

(弦楽四重奏曲)



加藤歩

チェロ

上野学園大学
器楽コース・4年

(弦楽四重奏曲)

〈特別出演〉



安田正昭

ピアノ

上野学園大学准教授

(メシアン/《ハラウィ》)

〈チケット〉

一般 ¥2,000 学生 ¥1,000 (全席自由・税込)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

*未就学児童のご入場はご遠慮ください

〈主催・お問合せ〉上野学園 石橋メモリアルホール

03-3843-3043 [平日10:00-17:00]

<http://www.ishibashimemorial.com>

〈企画〉同大学音楽文化研究センター

〈企画制作〉同大学音楽学部 文化創造マネジメント専門生有志

上野学園石橋メモリアルホール

〒110-8642

東京都台東区東上野4-24-12

学校法人上野学園内

●JR上野駅入谷改札から徒歩10分

●東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅1番出口から徒歩10分

●台東区循環バス東西めぐりん「上野駅・上野公園」(JR上野駅公園口向かい 東京文化会館前・停留所番号22番)乗車、「上野学園」下車徒歩1分。バス所要時間10分。

※駐車場、駐輪場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

